

れい がく しゃ
伶楽舎



管絃「越天楽」を聞いてみよう！
雅楽の楽器ってどんな音？
「越天楽」を歌ってみよう！
「うたそらごとの三つのにわ」
①草野心平の蛙のにわ
②宮沢賢治の猫のにわ
③中原中也のサーカスのにわ
(桑原ゆう作曲 委嘱初演)も聞いてみよう！
舞楽「還城楽」を見よう！
昔話と雅楽「ポン太と神鳴りさま」
を聞こう！



子どものための雅楽コンサート2024

雅楽ってなあに？



昔話と雅楽「ポン太と神鳴りさま」
(芝祐靖 作曲・脚本)



★「体験コーナー」
舞や楽器の体験ができます！



2024年7月26日(金)

①11:00~12:30(開場10:30)

②14:00~15:30(開場13:30)

〔会場〕千日谷会堂本堂

企画/主催: 伶楽舎

協力: 千日谷会堂

助成: 公益財団法人NOMURA 野村財団、公益財団法人朝日新聞文化財団

〈チケット料金〉

全自由席(各回定員80名)

●子ども(中学生以下) 前売、当日とも500円

●大人 前売1,000円 当日1,500円

※未就学児入場可(0歳から2歳は保護者の膝上鑑賞に限り無料。
お席が必要な場合はチケットをお求めください)

〈お問い合わせ〉

一般社団法人伶楽舎 TEL.03-5269-2011

(留守電にメッセージをお残し下さい)

info@reigakusha.com

チケット
発売開始
5月31日

〈チケット申し込み〉

◆伶楽舎 Eメール ticket@reigakusha.com
(7/24、17時まで受付)

FAX. 03-5269-2011

(FAXのみの取り扱い 7/25、17時まで受付)

※ご希望の回、大人子ども別の枚数、氏名、電話・

FAX番号を明記ください。

後程確認のご連絡を致します

雅楽は日本に1300年ほど前に伝えられ、宮中、神社、お寺などを中心に演奏されてきた音楽と舞です。平安時代を舞台にしたドラマや映画の音楽に使われていますが、多くの人にとっては、なじみのない音楽かもしれませんね。このコンサートでは、雅楽の楽器をご紹介しますが、有名な「越天楽」の合奏や、舞楽(雅楽の舞)「還城楽」を上演します。「還城楽」は怖い顔の面をつけていますが、なにやら喜んでいるような動きをしています。何を喜んでいるのか見つけてください。今回特別に、子どものために書かれた「うたそらごとの三つのにわ」は「ゆあーん、ゆよーん」など、詩の不思議な言葉がだんだんと雅楽の楽器の音に変身したり、反対に音が言葉にもどっていったりするように耳をかたむけてみてください。後半は、昔話と雅楽の「ポン太と神鳴りさま」。村のポン太が雲の上で神鳴りさまに会う、という楽しいお話と雅楽の演奏でお聴きいただきます。伶楽舎創立者の芝祐靖作曲の傑作雅楽曲です！雅楽を通して、いろんな体験をお楽しみください。

雅楽ってなあに？

子どものための雅楽コンサート2024

伶楽舎(れいがくしゃ)

1985年に芝祐靖が創設した雅楽演奏団体。雅楽の古典曲だけでなく、廃絶曲や正倉院復元楽器を用いた曲、現代作品を演奏するなど、幅広い活動を展開。国内各地の他、アメリカやヨーロッパ諸都市で公演。2016年佐治敬三賞、2020年ENEOS音楽賞邦楽部門を受賞。近年は「文化芸術による子供育成総合事業」他、全国で子どものための公演やワークショップを行っている。音楽監督・宮田まゆみ。

主催・お問合せ / 一般社団法人 伶楽舎

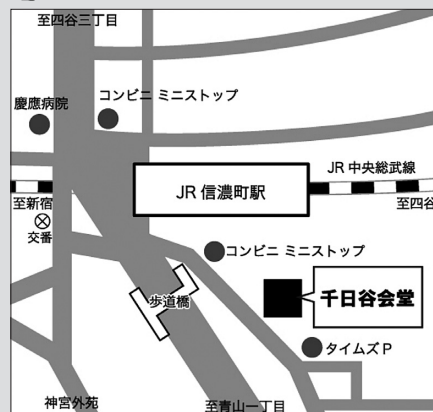
〒160-0012 新宿区南元町19-2千日谷会堂内
TEL&FAX: 03-5269-2011 (fax又は留守電にメッセージをお残しください)
info@reigakusha.com
<https://www.reigakusha.com>
<https://www.facebook.com/reigakusha>



伶楽舎



Facebook



JR中央線・総武線「信濃町」駅より徒歩1分
地下鉄: 都営大江戸線「国立競技場」駅より徒歩6分